



生活支援コーディネーター はやま一色歩き

令和5年11月発行

社会福祉協議会 一色地区のコーディネーターが、一色地区の情報や活動する団体などを分かりやすくお知らせしています。

ハロウィン

IN いっき

パーク紅葉山四季 自治会



ゲームに参加してお菓子をいただきます



ビンゴ大会



ワンちゃんも仮装してお出迎え



3年ぶりにハロウィンイベントを再開したり、縮小しながらも続けていたハロウィンをコロナ禍以前の規模に戻したり..

地域や団体によって開催の方法は違っても大人の「子ども達を喜ばせたい!」との思いが強く感じられるハロウィンでした。

つつじヶ丘 子ども会

ナイトカーニバルは
魔女も迫力



一色かいがん 子ども会

昔話「風の神と子ども」と
紙芝居「白い魚とサメの子」

お父さん
お母さん
紙芝居で
大熱演



小道を巡り...



葉山一色台 自治会

Trick or
Treat

子ども行列と
ティーパーティー



撮影ポイントも準備
されています

一色台 ふれあいの会

9月29日(金)葉山町福祉文化会館大会議室において、「ふれあいの会」が開催されました。前半は「葉山町スポーツ協会」による「モルック」の紹介と体験。後半は日々亭汗大樓さんの落語を鑑賞しました。演目は「～救急落語～ 初天神」と「ラーメン屋」です。参加者のみなさんは前半「モルック」で身体を動かし、後半は落語を聞いて笑って泣いて..盛りだくさんの時間を過ごしました。

モルックの基礎知識

フィンランドの伝統的なゲームを元に1996年に開発された年齢や健康状態に関わらず、すべての人が楽しめるスポーツです。日本でも急速に競技人口が増えつつあります。



第4町内会 四ツ葉の会

10月25日(水)玉蔵院で行われた「四ツ葉の会」に伺いました。参加者は昼食後、本堂に移動し、日々亭汗大樓さんの落語を楽しみました。今回の演目は「住宅用火災警報器落語 火の防人」と「ラーメン屋」です。お寺での落語会らしく、ご本尊の前で話す汗大樓さん。大きな会場で落語を披露したことはあっても、今回のような場所は初めてだったそうです。

日々亭 汗大樓さんのプロフィール

葉山在住の現役消防士。心肺蘇生法を教える救急講習に落語を取り入れようとしたのが落語を始めたきっかけ。

9月23日に行われた「全日本素人落語フェスティバル」にて**最優秀賞**を受賞。受賞の演目は「ラーメン屋」



汗大樓さんからのメッセージ

「ラーメン屋」は人の温かさ、やさしさが溢れた大好きな噺です。たくさんの方に知ってもらえたらうれしいです。



落語の基礎知識



滑稽な話や人情に訴える話を、座って一人で演じる芸が落語です。おもに登場人物の会話によって物語を進めます。話の最後は、気の利いた結末がつけられることが多い、これを「落ち(おち)」や「下げ(さげ)」といいます。

「はやま一色歩き」は葉山町社会福祉協議会の[ホームページ](#)からみることができます

生活支援コーディネーターとは高齢者が住み慣れた地域で自分らしく暮らしていけるよう、生活支援・介護予防の体制づくりを進めるのが仕事です。具体的には地域の特性や高齢者の困りごとを把握しネットワークづくり、ニーズと取り組みのマッチングなどを行います。皆さん、気軽に声をかけてください。